



国学院大 3位

箱根駅伝

10時間54分20秒

史上最高位更新



東京箱根間往復大学駅伝競走 ★ SAPPORO

デットヒートを制し国学院大史上最高の総合3位で復路ゴールに飛び込んだ殿地琢朗(後方は4位の帝京大)＝3日、東京・大手町

第96回箱根駅伝 総合成績

- ①青山学院大 10時間45分23秒＝大会新
- ②東海大 10時間48分25秒＝大会新
- ③**国学院大** 10時間54分20秒
往路2位: 5時間22分49秒、復路10位: 5時間31分31秒
- ④帝京大 10時間54分23秒
- ⑤東京国際大 10時間54分27秒
- ⑥明治大 10時間54分46秒
- ⑦早稲田大 10時間57分43秒
- ⑧駒沢大 10時間57分44秒
- ⑨創価大 10時間58分17秒
- ⑩東洋大 10時間59分11秒

国学院大の個人順位 (氏名、所属・学年、区間順位、総合順位、◎=区間新)

【往路】		【復路】	
1区 藤木宏太(神文2)	2、2	6区 島崎慎愛(経営2)	8、2
2区 土方英和(健体4)	8、4	7区 木付琳(経2)	11、3
3区 青木祐人(経ネ4)	5、3	8区 河東寛大(神文3)	7、3
4区 中西大翔(健体1)	3、3	9区 茂原大悟(史4)	19、5
5区 浦野雄平(経営4)◎	3、2	10区 殿地琢朗(健体2)	4、3

令和初となる第96回の東京箱根間往復大学駅伝競争(箱根駅伝)は2、3の両日、東京・大手町―神奈川県箱根町の芦ノ湖畔往復の10区間、217.1キロで行われ、国学院大は一度も6位以下に落ちることなく、10時間54分20秒で過去最高の7位を更新する総合3位となった。10区間のうち7区間で区間新が出た高速レースは、青山学院大が10時間45分23秒の大会新記録で制した。

昨年10月の出雲駅伝を初制覇した国学院大は、「往路優勝、総合3位」を掲げてレースに挑戦。往路では、前回大会で「山の神」に君臨した浦野雄平(経営4)が1時間10分45秒の区間新記録(区間3位)の好走をみせるなどし、同大史上最高の2位で芦ノ湖のゴールに飛び込んだ。

トップから1分33秒差でスタートした復路では、5位でタスキを受けた10区の殿地琢朗(健体2)が追いついて激烈な3位争いを展開。ラスト1キロで抜け出し、3秒差で同大史上最高順位の総合3位(復路10位)でゴールを駆け抜けた。

前田康弘監督「一言で言うって痺れた。1年間やったことが有言実行できた。選手の実力を称えたい」

土方英和主将「往路優勝はできなかったが、目標としていた総合3位に悔いは全くない。最高の結果で終わった」